



おい町

議会だより



コッパ
木端の音楽家



ぬくもりを感じる昭和の本

(12面に関連記事)

INDEX

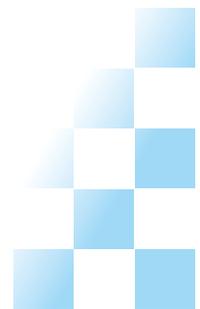
- 議長年頭のご挨拶 2
- こんなことが決まりました 3
- 一般質問（12月定例会） 5
- 研修視察報告 10
- あれからどうなったの？ 11
- 楽しむ人 12

No.16

平成22年1月26日発行



年頭のご挨拶



おい町議会
議長 浜田 勝美

新年明けましておめでとうございます。

町民の皆様方には、ご家族お揃いで平成二十二年の新春を健やかに迎えの事とお慶び申し上げますと共に、町の将来を壽ぎ、議会を代表致しまして謹んで新年のご挨拶を申し上げます。日頃は議会に対しまして格別のご指導、ご鞭撻を賜り心から感謝とお礼を申し上げます。

今、改めて昨年を振り返ってみますと、一月にはアメリカで「チェンジ」の掛け声と共に「オバマ大統領」が誕生し、新しい時代の幕明けとなりましたが、経済環境はサブプライムローンの問題をはじめ、リーマンブラザーズの破綻や原油高騰、株価の暴落など、経済不況の嵐はまだまだ収息する気配さえありません。

また、国内では、八月の衆議院議員選挙において、半世紀以上国政を担当してきた自民党政権から新たに民主党政権へ政権交代し、政治主導をかかげる新政権では、予算編成にからむ行政刷新会議による「事業仕分け」や、経済対策や防衛問題など

の難題を抱えての一年でありました。

さて、このような厳しい環境の中で本町を振り返って見ますと、原子力発電所立地の集大成として進められてきました「うみんぴあ大飯事業」も複合型交流施設「ホテルうみんぴあ」が完成し、グランドオープンいたしました。先に運営を開始いたしました関西電力施設の「エルガイアおい」や「県立こども家族館」と共に順調に利用者が増えていることは誠に喜ばしいことでもあります。

一方、名田庄地域で計画しております、新たな生涯学習の場となる「名田庄総合施設」も、三月の本体工事着工に向けて順調に準備が進められております。

また、長年の重点事業として進められてきました「大津呂ダム」や「坂本高浜線」も、現在のところ事業仕分けなどの影響もなく、計画通り推移しております、今後とも議会としてもしっかりと取り組んで参る所存でございます。

今年三月には新おい町が誕生いたしましたして満四年を迎える事になり、合併協議での諸事業も、あと一年で総仕上げの年となります。

議会では、「議会活性化特別委員会」において、議会のあり方、活性化方策に関して幅広い調査・協議を進め、昨年十一月に中間報告としての答申を受けたところであります。この答申を尊重し、我々議員一同はその主旨を十分理解し、その責務の重大さと使命を再認識すると共に、我がおおい町が更なる発展を期せるよう、議会活動を全うする所存でございます。

結びに、町民の皆様方の益々のご健勝とご多幸を心よりご祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

7.8回
臨時会

こんなことが決まりました

12月
定例会

第7回臨時会(10月27日)では、一般会計補正予算ほか2議案を、第8回臨時会(11月25日)では、一般職の給与に関する条例等の一部改正ほか1議案を原案どおり可決。

12月定例会(9日~22日)では水産加工センターの設置及び管理に関する条例の一部改正や一般会計補正予算など18議案を原案どおり可決しました。その他、陳情書2件を趣旨採択、2件を不採択、1件を継続審議することを決めました。また、農業委員に森内正美氏、新谷欣也氏、中谷洋子氏、徳庄よし子氏の4人を選任しました。

第7回臨時会

(10月27日)

●専決処分の承認

●老人医療事業特別会計補正予算

1619万6千円

医療機関からの請求額変更に伴う老人医療給付費負担金を増額するもの。

(全会一致 承認)

●一般会計補正予算

513万5千円

新型インフルエンザ対策として、ワクチン接種助成金(低所得者などに対する負担軽減)472万4千円や学校などでマスクや消毒液を購入する費用を追加するもの。

(全会一致 可決)

●水産加工施設整備工事を

5523万で契約

大島地係でへしこや惣菜、練り製品を製造する施設を建設する工事、入札の結果、株式会社荒木が落札しています。

(賛成多数 可決)

第8回臨時会

(11月25日)

●一般職の職員に関する条例などの改正

人事院勧告に基づき、一般職と特別職の給料・期末手当を引き下げるもの。

【給料の引き下げ】

平均0.2%

【期末手当の引き下げ】

一般職の期末・勤勉手当

年間4.50→4.15カ月分

特別職 期末手当

年間3.30→3.10カ月分

(賛成多数 可決)

●大山浄水場改良工事を

3億9900万円で契約

大島地区に水道水を供給している大山浄水場で、病原性原虫類などへの安全対策のため高度浄水化を行う工事で、入札の結果、ウォーターテック・こんどう共同企業体が落札しています。

(全会一致 可決)

12月定例会

(12月9日~22日)

●台風18号の災害復旧費など

総額約1億114万円を追加補正

道路改良工事の前倒しや、台風による災害復旧事業費などの経費の追加を行うものです。

議案は、予算決算常任委員会に付託され、審議、報告の後、すべて原案どおり可決しました。

●一般会計補正予算

1億8万円

【主な歳出】

・全国瞬時警報システム更新工事 570万円

・役場前バス待合所設置工事 309万8千円

・県単林道改良事業(新鞍谷線) 600万円

・漂着ゴミ回収(塩浜・長井浜) 380万1千円

・道路新設改良事業

(小倉畑6号線・県営事業負担金) 5791万9千円

(次ページに続く)

(主な歳出の続き)

・急傾斜地崩壊対策事業負担金
(片内・棚橋地区)

592万5千円

・林道災害復旧工事 (新鞍谷線)

300万円



被害を受けた林道新鞍谷線

・河川災害復旧工事 (坂本川)

279万3千円

●国民健康保険事業特別会計

補正予算

55万2千円

●国民健康保険診療事業特別会計

補正予算

51万円

町の公共施設の指定管理者に

7団体を指定

おおい町総合運動公園など11の公共施設の管理者を指定するもので、次のとおり原案どおり可決しました。

総合運動公園・いきいき長寿村・さぶり川公園・きのこの森・情報交差点

株式会社おおい
株式会社おおい
介護者支援施設(やまもも)

社会福祉法人友愛会
風車会館

おおい町観光協会
頭巾山青少年旅行村ほか3施設

株式会社名田庄商会
あかぐり海釣公園

大島漁業協同組合
あまご山会館

名田庄下区
若州一滴文庫

特定非営利活動法人一滴の里

鳥獣害対策特別委員会を設置

6人の委員を選任

委員長 松井 榮治

副委員長 森内 正美

委員 浦松清八郎・中塚 寛

渡辺 均・小川 宗一

総務常任委員会付託議案

●地方財政の充実・強化を求める意見書採択を求める陳情

全日本自治労働組合福井県本部 執行委員長 酒井里巴から提出されたもので、国に対して地方自治体に必要となる地方財政の充実・強化を求める意見書提出を求めるもの。

(全会一致 趣旨採択)

●新保険業法の適用除外を求める陳情

福井県保険医協会 会長 辻 哲雄から提出されたもので、政府に対して自主共済の救済対策と新保険業法の適用除外を求める意見書提出を求めるもの。

(全会一致 趣旨採択)

●現行保育制度の堅持・拡充と保育・学童保育・子育て支援予算の大幅増額を求める意見書提出を求める陳情

福井県保育団体連絡会 代表 大西通代から提出されたもので、国に対して保育行政に関する意見書提出を求めるもの。

(全会一致 継続審査)

産業建設常任委員会付託議案

●水産加工センターの設置・管理に関する条例の制定

現在建設中の水産加工センターの利用料などを定めるもの。

(賛成多数 可決)

●汚水処理槽補修工事の変更契約

(全会一致 可決)

●上下水道遠方監視システム改良

大飯地域の上下水道遠方監視システムを更新するもので、入札の結果、シンク・エンジニアリング株式会社が落札しています。

(全会一致 可決)

●町道路線の変更

町道尾内海岸線が改良延長整備されることにより、終点の位置を変更認定しようとするもの。

(全会一致 可決)

●政府への日米間における自由貿易協定締結に反対する意見書提出を求める陳情

(賛成多数 不採択)

一般質問

6人の議員が町政をたずね



浦松 清八郎

■任期満了に伴う町長選への意向は

町民のご支援が得られるなら三選出馬を

問 町長は、平成22年4月に任期満了となります。合併時の諸課題の総仕上げの年にもなりますが、町長選挙は、どのように考えていますか。

答 (町長) 合併以来、懸案だった大飯・名田庄両地域の格差是正問題は、ほぼ順調に統一を進めてきました。

しかし、いまだいくつかの重要課題をかかえているので、今が町にとって重要な時期と考えます。そこで、町民のご支援が得られ

るのならば、引き続き町政を担当させていただきたいと考えています。



森内 正美

■名田庄総合施設の建設は予定どおり進んでいますか

着工に向けた諸条件が整いつつあります

問 実施設計による施設の変更、見直しはありませんか。
答 (町長) 最近発生している短期集中豪雨の教訓から、建物の床高を50cm高くする変更をしました。

問 役場車庫付近の整備計画はできましたか。

答 (町長) 総合施設の駐車場として利用できるように整備して、道路横断することなく施設に入れるように検討をしています。

問 今後の全体工程を示してください。

答 (町長) 施設建築に先立ち、国道法面整備と排水整備工事を先行発注し、その後本体工事を年度内に発注する予定です。

着工から1年後の平成23年3月に建築工事の完成を見込み、その後周辺整備に着手します。

併せて図書館の移転、諸備品の購入などの開館準備をすすめ、秋頃の開館を目指しています。



更地になった建設用地

問 全体会議である建設推進協議会では、どのようなことを協議されていますか。

答 (町長) テーマごとに分かれ、実施設計の内容、活動グループの運営、活動理念などを協議し、全体会議に諮る予定です。

問 施設全体の運営は全体協議会での議論が必要だと思えますが、また建設推進協議会の構成が変わったのですか。

答 (生涯学習課長) 4つの部会ごとに協議をすすめている状態です。今後は全体会議で検討をする予定です。

また、構成は4部会をまとめ、メンバー全員11人と職員です。

問 以前、定例会で町長は、施設の運営は行政主導とならないよう、住民の声を聞いた協働での運営を目指すと言われていますが、具体的な考えは。

答 (町長) 本年は、住民の声を反映させる取り組みとして、生涯学習講座を開催し、先進地の事例を学ぶ講座や討議を重ねており、自主的な取り組みへとつながりつつあります。

来年度も引き続き開館準備活動を計画しています。その中で将来の指定管理者制度も含め、詳細な検討を重ね、判断していきます。



小川 宗一

■自然環境整備事業の推進計画は

自然環境に配慮した計画を
国・県と連携して進めます

問

総合的な自然環境で大切なことは水源確保であり、自然森林の保管と風水害の予知・予防、磯焼けの防止など、海の浄化と合わせ相乗効果で自然環境が守られます。

今、必要な森林整備事業の推進計画は。

答

(副町長) 平成20年度から10カ年計画で森林整備計画を立て、「水土保全林」、「森林と水の共生林」、「資源の環境利用林」の3区域に区分して、その機能に応じた森林施策の促進を行います。

問

町内にある多くの砂防堰堤は、将来の水源の確保に総

合的に影響しますが、現状の管理状況は。

答

(副町長) 町内には350箇所の堰堤があり、県が一元的に総合管理を行っています。施設の堆積土砂の継続的な状況把握をしています。

問

管理の頻度と水質調査の現状は。

答

(副町長) 個所ごとのカルテや台帳を作成して、年一回程度のパトロールを実施しています。

今後は水質調査も整備計画事業の中で対応します。

問

教育課程の中での自然体験教育は。

答

(教育長) 各校が地域の特色を生かして、植林・農業・海鮮食材など、多くの理科体験に取り組んでいます。

中学校では、基礎知識を基本にして、より高度で専門的な学習と、グローバルな視点で環境学習に取り組んでいます。

■自然エネルギーへの対応は

工口推進事業の重要性を認識して、積極的に展開します

問

近年、地球温暖化が非常に重い問題になっていますが、将来に「自然力」を残せる工口推進事業の考え方は。

答

(町長) 大変に重要な問題として認識しています。策定中の「環境基本計画」を目標として取り組みます。

問

自然エネルギーである太陽光発電システムの導入と促進は。

答

(町長) 次世代自動車の導入、一般住宅・公共施設への太陽光発電の導入を促進します。

問

県が進める「エネルギー研究開発拠点化計画」の中で大規模な太陽光発電設備の整備計画への対応は。

答

(町長) 強く期待して、誘致活動を積極的に展開します。

問

豊かさに慣れすぎた生活環境も少し立ち止まり、子供達に視線を変えて素晴らしい自然クリーンエネルギーの理科体験教育への取り組みは。

答

(教育長) 各小中学校では、社会科・理科の授業の中で燃料電池・光電池・風力発電などの仕組みを学び、CO₂などの温暖化ガスの出ないエネルギーの重要性を学んでいます。



近年注目を集める住宅用太陽光発電設備



渡辺 均

■若狭霊場の今後は

施設の老朽化により、新たな施設の整備が必要です

問 今年7月に設立された小浜市・高浜町・おおい町の3市町による「広域斎場整備協議会」での協議進捗状況は。

答 (町長) 副市長と副町長を中心とする協議会では、広域による火葬場の整備の調査研究や、建設候補地の選定、施設の概要、整備後の運営などの協議をしています。

問 この施設は建設から39年になりますが、設備に問題はありませんか。

答 (生活環境課長) 全体に老朽化が進んではいますが平成16年に補修を行い、炉の耐火煉瓦の耐久は30年以上です。

問 3市町の真ん中に位置する当町に建設することの検討は。

答 (町長) 現在のところその予定はありません。

■有害獣の捕獲後の処理は

埋設処理から焼却処理施設の建設が決定

問 平成23年秋に若狭町に建設がされる鳥獣処理施設は。

答 (副町長) 嶺南6市町の推進協議会で協議され、鳥獣焼却施設と食肉加工施設の建設を行うもので、増加傾向にある捕獲鳥獣の処理には町としても積極的に協力していきます。

問 駆除隊の高齢化と人数の対策は。

答 (農林水産振興課長) 現在の狩猟免許取得者44名のうち25名が有害獣駆除隊であり現在の実施要項を含めて対策を検討します。

問 狩猟期間を3月まで延長することを県に要望しませんか。

答 (農林水産振興課長) 他の自治体とも協議して検討します。

■2つの図書館の連携は

新システムを導入し統合することが必要です

問 大飯図書館の情報管理システムは平成7年に導入されたもので、他の図書館との互換性がない古いものです。まずこのシステムを更新する必要がありますのでは。

答 (教育長) 大飯図書館では、既にシステム機器の耐用年数を超えており、名田庄図書館で



大飯図書館の現在のシステム

も開館する平成23年には大幅に超えることになり、現行機器の良好な運営管理が困難になります。新規導入について検討していきます。

問 職員の削減計画が示されており、人材の質的向上と士気の高揚が必要になります。効率のよい機器の導入も併せて必要と考えますが。

答 (町長) 電子機器の進化は日進月歩であり、町民へのサービスの低下に繋がらないように対処したいと考えます。



中本 茂

■宮留地区の埋め立てはなぜ進まないのか

国の認可を得る手続きに時間がかかっています

問 大島地区の漁港整備事業は本年度に基本計画を策定す



埋立が計画されている宮留地区

ることになっていますが進捗経過を説明してください。

答 (町長) 平成19年1月に、宮留区から公有水面を埋め立てして駐車場や歩道、漁船の係留施設の整備の要望を受けました。

平成20年度から調査に着手し、本年度は基本計画の策定を進めています。

問 3月定例会で平成21年度は基本計画の策定をし、公有水面の埋め立てなどの申請業務に入ると答弁されていますが、どうなっていますか。

答 (町長) 第一種に指定されている大島漁港は、これま

で整備された各種基本施設との整合性の確認もあり、その充足率を超える部分の整備、埋め立ては国が認めてくれないのが現状です。また地区の同意、理解が得られなければ進まない状況です。

問 地元同意は平成19年1月に町に提出しています。

また、平成21年度は基本計画の策定を進めているとの答弁ですが、地元には何ら説明がありません。

答 (建設課長) 地元説明会を計画していましたが、ご指摘の質問が先にあり、申し訳なく思っています。

問 漁港整備は、大島全区の要望事項ですが、町長は区長会で、まず宮留地区から順次進めていくと答弁されています。

地元住民は大きな期待をします。そこで、当初の中期振興事業計画の5年間で事業はできませんか。また今後の見通しを示してください。

答 (町長) これまで国、県と調整してきた計画を地元の漁業者の皆様にご了承していただいた段階で、地元漁業協同組合の漁業権消滅に関する同意を得て、実

に整備された各種基本施設との整合性の確認もあり、その充足率を超える部分の整備、埋め立ては国が認めてくれないのが現状です。また地区の同意、理解が得られなければ進まない状況です。

施設計と調査を行い、公有水面埋め立ての申請手続きに入ります。その許可を得た後、事業に着手する予定です。



猿橋 巧

■予算執行と財源確保は

一部執行停止と電源交付金の使途拡大で

問 経済危機対策予算の執行停止になった子育て応援特別手当は、935万ですが、町財源で対応してはごうですか。

答 (町長) 議会の議決を得て予算に計上し、町民の期待の高い事業が執行出来なくなりましたが、国策の事情として理解を

求めたい。財源確保策は、電源交付金が、その使途が町民福祉向上のための経費である扶養費へ充当できることへの見直しは歓迎したい。

使用済核燃料保管税は、新たな財源需要の動向を注視し臨機応変に対応したいと思えます。

■公契約の透明性と公正性は保たれていますか

条例は、今は考えない業者選考は厳正に

問 公共事業で労働条件を確保して業務の質を向上させる「公契約条例」を創設しては。

答 (副町長) 条例の創設は、条例において労働条件などを規定・監督するのですが、関係法令や制定した場合の費用対効果を考えると困難が多く現時点では、考えられません。

しかし、必要が生じれば「契約手続適正化委員会」などで検討します。

町発注事業の業者選考は、恣意的な指名はせず厳正に執行し、か

つ地元業者育成の観点で適正で競争性の高い制度運用を図ります。見積業者選定も指名競走入札手続きの例に従い行っています。

問 町の関与する施設へ地元産品や地元業者参入を図り、資材や食材等の納入のための指導を強めよ。

答 (商工観光振興課長) 町内の7施設へは、地元産材と地元業者が納入するようお願いをしています。

ただし、安定した品質と供給が前提となります。

■高校生の通学費用に補助を示すべき
第一義的には県が助成方を示すべき

問 本町に高校がないので必ず必要な通学費の父兄の負担が重くなっています。

バス代、JR代の定期券補助を考えませんか。

答 (教育長) 高校教育は県であり県が助成方を示してほしい。

一方、就学費には、政府が経済的支援を考えており期待をします。本町の費用軽減策は現時点で考えていませんが、地域の実情、近隣市町の動向も見ながら判断していきます。



有料バスで通学する高校生

議会活性化通信

議会活性化特別委員会

委員長 新谷 欣也

平成12年の地方分権一括法の施行から地方議会の役割が極めて広範囲で、責任の度合も重くなってきています。

このような状況のなかで、本議会として、真に「町民に開かれた・親しまれる議会」を目指す必要があると考えこれまで活性化方策等について議論を重ねてきました。

このたび、「議員の政策能力向上」、「町民に開かれた議会」、「議会運営」の3項目を中間報告としてまとめ、昨年の11月18日に議長に中間報告をしました。

まず、「議員の政策能力向上」では、財政に強い議会、これは議会活性化の基本となるもので町の財政状況について町民に説明ができるようにするものです。

次に、「町民に開かれた議会」では、議会報告会の開催、これは町民と議会の距離を縮め情報の共有や意見などを聞くものであり、今回4地区で正副区長を対象に実

施したいと考えています。

また議会広報の充実強化として、出かけて広報する議会を目指し、議員自らが議会日程や議案などのチラシを作成して、各種団体などに持参し配布するものです。これにより議会に関心を持っていただき、町民に親しまれる議会を目指します。

次に、「議会運営」では、反問権の付与、これは理事者側に付与するもので、一般質問や議案等で論点・争点を明確にして、より質の高い政策議論を目指すものです。今後、これらを実践し調査・検討を行い、集大成として「議会基本条例」を制定したいと考えています。



3項目の活性化方策を報告

**産業建設常任委員会
研修視察報告**

研修日時 平成21年11月2日
研修場所 若狭町役場
参加者 委員6人

鳥獣被害防止への取り組み

若狭町は、県内で有害獣捕獲頭数が最も多く、特にシカは1460頭で本町の627頭の2倍を超えています。

若狭町では、平成20年度から3年計画の鳥獣被害防止計画を作成し、年度ごとの防止対策、軽減目標、地域を決め、町ぐるみで取り組んでいます。

被害防止の対策として、国・県のあらゆる事業を適用して、金網柵（恒久柵）で集落全域を囲む配置にしています。設置にはかなりの受益者負担が掛かりますが、住民の理解もあって順調に進んでいるようです。

また、里山には、人間と動物との生息境界、いわゆる緩衝地帯を設け、見晴らしを良くして動物の出没を避ける方策をとっています。この効果は始めたばかりなのでまだ分からないとのことでした。

侵入場所には不慣れた食物を置かない、収穫しない果実は処分するなど、家庭でできることを積極的に実行する取り組みも立派でした。サル被害の対策としては、町独自で考案したサル鉄砲を家庭に配置して、追い払い作戦を展開されています。

そのほか、捕獲費の補助や将来を見越した実のなる苗木の植え付けも実施されています。

被害防止対策としては、抜本的な計画が必要であり、それには住民の協力・理解を得ることが最も大事であることを研修を通じて実感しました。



若狭町での研修の様子

**原子力発電対策特別委員会
研修視察報告**

研修日時 平成21年11月4日・5日
研修会場 愛媛県伊方町 伊方発電所など
参加者 委員7人

プルサーマル発電への取り組み

愛媛県伊方町にある四国電力伊方発電所で、プルサーマル計画の実施を控えた現状とその経過を研修視察しました。

フランスのメロックス社で生産されたMOX燃料21体は既に発電所に保管されており、平成22年1月の定期検査にあわせて燃料集合体157体のなかに使用されてプルサーマルが稼動することになります。

地域に対するプルサーマルの取り組みも詳細に実施されており、懇談会・説明会、訪問対話活動、見学会などを平成16年から合計24万301人に対して行われています。

安全への取り組み

原子力保安研修所は、松山市内にある建物で、伊方3号機モデル

の運転シミュレータが設置されており、発電所のいかなる事態にも対応できる事故対応訓練が行われていました。

関西電力(株)でも、高浜発電所に続いて大飯発電所でもプルサーマルの導入が検討されるでしょうが、地域に対する安心・安全への理解活動が最も重要であると感じました。

折しも視察した日に九州電力の玄海発電所で、日本初のプルサーマル発電が臨界に達しました。



伊方発電所での研修の様子

追跡

1年前の一般質問

あれからどうなったの？

議会だよりでは、定例会での一般質問の要旨を掲載していますが、議員からの提案などが、その後、どのように町政に反映されたかを、追跡調査してみました。今回は、平成20年9月定例会と平成20年12月定例会からピックアップしました。

自然環境問題への対応は

佐分利川の景観改善策として、葦の掘り起こしと頭首工の泥の浚渫ができませんか。

(平成20年12月定例会 渡辺 均 議員)

建設課長答弁

関係当局とさらなる検討を

河川管理者である福井県に対して、官民一体となった河川の景観保全を行うように、今まで以上に働きかけます。

どうなった？

堆積した土砂の整備を

河川の中に生えている木の伐採と、支流河口の土砂整備を実施しています。



万願寺川河口付近での土砂浚渫



改良工事が進む町道尾内海岸線

こども家族館への安全な経路は

町内からの利用者が、自転車や徒歩で安全に来館するには、道路などの整備が必要では。

(平成20年9月定例会 田中景子 議員)

副町長答弁

駅からの来館者にも配慮します

町内の方には、本郷海岸橋を通れば安全に来館していただけます。

さらに、駅からの来館者への対応も含め、標識などの設置を考えます。

どうなった？

町道が改良延長されました

この12月議会で、経路となる町道の追加延長219mが認定されました。

また、併せて、現在、道路幅員の拡幅整備工事が進んでいます。

楽しむ

昭和の本がおもしろい

名田庄久坂 堀口勝史さん

私の趣味の一つとして、読書があります。少しでも時間が空くと、読書の時間にあててしまいます。色々な本を読んでいます。特に昭和時代に出版された本や、昭和時代を特集した本にひかれます。当時に書かれたものを読んでいると、知らなかった事もたくさんありますし、読んでいる間は当時の事を思い出します。

社会人になってから古本屋へも時々出掛けるようになり、知らず知らずのうちに昭和の本を買集めるようになりました。

私が子供だった昭和40～50年代の児童書も非常に懐かしく、現在のイラストと違って、昔ながらの味があります。馬場のぼる先生や柿本幸造先生の絵は特に好きで、柔らかいタッチにぬくもりを感じます。

昭和時代に関する展示会やイベントがあれば、時々出掛けています。私の本もいつか機会があれば展示したいですし、物がありふれた現代だからこそ、これからも古い物を大事にしていきたいと思っています。

(堀口勝史 記)



木端（コッパ）をよみがえらせて

鹿野 山崎喜代一さん

自然の環境破壊が危惧されています。中でも世界の森林は伐採による森林面積の減少が進み、地球温暖化に大きな影響を与えており、国内においては木材価格の低下で森林の手入れが停滞し、里山の荒廃が進んでいます。生活環境の変化が人を山へ行くことを遠ざけてきた結果です。

私は30年ほど前から身近にある山林へ出かけていき、自然の木を使った玩具作りを手がけてきました。「コッパの会」と言います。コッパは「木端」で木の端(はし)くれのことです。

山林にある間伐材や広葉樹のナラ、サクラ、ケヤキや落ちている木々の枝、ドングリ、松ぼっくりなどを材料に使い、素材の特長を生かして作ります。

「動きがあり音の出るもの、素材の持つ自然の色の組み合わせ、形は丸みの表情を出すこと」などの表現を大事にしています。朽ちていけよう自然からの恵みを、もう一度生命を吹きかけて蘇えらせてやりたいという思いで作っています。

(山崎喜代一 記)



議会の傍聴に来てみませんか

おい町議会では、本会議をはじめ議員全員協議会や各委員会も公開しています。

次回の定例会は次のとおりです。傍聴について詳しくは議会事務局(77-1111 内線312)までお問い合わせください。

3月定例会 の予定

会期：2月22日から3月11日まで(18日間)

本会議：2月22日(議案提案理由説明など)、3月2日(一般質問)、3月11日(採決)

【編集後記】

ご家族お揃いで初春をお迎えることとお慶びを申し上げます。

今回の議会だよりは、議長の年頭の挨拶をはじめ、12月の議会定例会の内容と、一般質問を中心に編集しています。

議会広報も、年々少しずつですが、住民の誰にでも親しみやすい紙面づくりに努めています。

文書づくりも簡単にして、写真や見出しなどの工夫をしています。

今後も、読まれ、親しまれて、生きいきと伝える、編集にまいります。

本年も、どうぞよろしく
お願い申し上げます。

(小川)

広報特別委員会

委員長	森内 正美
副委員長	猿橋 巧
委員	小野 泰孝
	中本 茂
	渡辺 均
	小川 宗一